



シンポジウム「パネルディスカッション」



美九里西小の高山社学発表会

元気いっぱいの学習発表



多くの人でにぎわった絵画展



新井市長から感謝状を贈呈



金賞を受賞した児童たち



美しい音色とかわいい歌声が聴衆を魅了



座繰りの実演

NEWS 2014 シンポジウムや演奏会など 喜びでいっぱい市民祝祭イベント! 世界遺産登録記念フェスティバル



ピエロのパフォーマンスに拍手

美しい音色とかわいい歌声が聴衆を魅了しました。

■ 座繰りの実演
座繰りや機織りの展示・実演、江戸期三井越後屋関連資料展、諏訪神社宮神輿展示、その他、お茶席やまゆだまマン紙芝居、物産販売など盛りだくさん。来場者は祝賀ムードを満喫しながら、さまざまなイベントを楽しんでいました。

■ その他のイベント
大ホールでは「みらいの丘 秋の音楽祭」と題した演奏会が開かれました。出演したのは、武蔵野音楽大学、新みかぼフィルハーモニック、藤岡地方ユネスコ少年少女合唱団で、美しい音色、かわいらしい歌声が聴衆を魅了しました。

■ 児童絵画展
式典で表彰された高山社関連児童絵画の優秀作品が大ホールホワイエを彩りました。力作ぞろいの作品が来場者を楽しませ、また、自分の作品の前で記念写真を撮る児童の姿もありました。

■ 演奏会
大ホールでは「みらいの丘 秋の音楽祭」と題した演奏会が開かれました。出演したのは、武蔵野音楽大学、新みかぼフィルハーモニック、藤岡地方ユネスコ少年少女合唱団で、美しい音色、かわいらしい歌声が聴衆を魅了しました。

■ 児童絵画展
式典で表彰された高山社関連児童絵画の優秀作品が大ホールホワイエを彩りました。力作ぞろいの作品が来場者を楽しませ、また、自分の作品の前で記念写真を撮る児童の姿もありました。

■ 演奏会
大ホールでは「みらいの丘 秋の音楽祭」と題した演奏会が開かれました。出演したのは、武蔵野音楽大学、新みかぼフィルハーモニック、藤岡地方ユネスコ少年少女合唱団で、美しい音色、かわいらしい歌声が聴衆を魅了しました。

■ 式典・シンポジウム
小ホールで開催された式典では、新井利明市長が世界遺産登録の喜びや協力していただいた市民への感謝、今後の期待などを述べたあいさつに始まり、世界遺産登録に貢献した個人・団体に感謝状が贈呈されました。また、高山社関連児童絵画入賞者（市文化協会主催Ⅱ金賞6人、銀賞11人、銅賞26人の計43人）の優秀表彰も行われました。

式典に続いて行われたのが、2部構成のシンポジウムです。第1部のテーマは、「世界のたからもの『高山社』」記憶をつなぐためのしくみをつくろう！」。県立女子大准教授の新井小枝子さんをコーディネーターに招きパネルディスカッションが行われました。パネラーは養蚕農家の酒井増美さん、高山社跡解説員の空師昌弘さん、美土里小学校教頭の春山秀幸さん、藤岡青年会議所副理事長の塚本浩史さん。和やかな雰囲気の中、今後の高山社の活用や観光振興などについて話し合われました。

第2部は、美九里西小学校の児童による「高山社学発表会」です。児童たちは、清温育を確立した高山長五郎の功績を手作りのパネルなどを使って発表しました。来場者は児童たちの元気で分かりや

平成26年10月5日、「世界遺産登録記念フェスティバル」がみかぼみらい館で開催されました。同フェスティバルは、高山社跡の世界文化遺産登録を記念する祝祭イベントで、全館を使ってシンポジウムや演奏会、展示、物産販売などが行われ、多くの人でにぎわいました。

■ 式典・シンポジウム
小ホールで開催された式典では、新井利明市長が世界遺産登録の喜びや協力していただいた市民への感謝、今後の期待などを述べたあいさつに始まり、世界遺産登録に貢献した個人・団体に感謝状が贈呈されました。また、高山社関連児童絵画入賞者（市文化協会主催Ⅱ金賞6人、銀賞11人、銅賞26人の計43人）の優秀表彰も行われました。

式典に続いて行われたのが、2部構成のシンポジウムです。第1部のテーマは、「世界のたからもの『高山社』」記憶をつなぐためのしくみをつくろう！」。県立女子大准教授の新井小枝子さんをコーディネーターに招きパネルディスカッションが行われました。パネラーは養蚕農家の酒井増美さん、高山社跡解説員の空師昌弘さん、美土里小学校教頭の春山秀幸さん、藤岡青年会議所副理事長の塚本浩史さん。和やかな雰囲気の中、今後の高山社の活用や観光振興などについて話し合われました。

第2部は、美九里西小学校の児童による「高山社学発表会」です。児童たちは、清温育を確立した高山長五郎の功績を手作りのパネルなどを使って発表しました。来場者は児童たちの元気で分かりや



鬼石三杉太鼓 (右上・右下)



上州藤岡上杉管領太鼓 (左上・左下)



感謝状を贈呈された皆さん



市政功労章を受章した宮下義男さん



市政功労章を受章した木村榮さん



全員で「バンザイ」



NEWS 2014 市民とともに歩いた60年。
市民とともに進む、これから・未来!
藤岡市制施行60周年記念式典



休憩を挟んで繰り広げられたのが、鬼石三杉太鼓と上州藤岡上杉管領太鼓による和太鼓演奏です。鬼石三杉太鼓が力強い太鼓の音色を披露し、上杉管領太鼓が戦国時代の合戦を彷彿とさせる魅力的な演奏を披露し、聴衆を魅了。60周年を記念する式典に華を添えました。

式典の締めくくりは、大島孝夫副市長の音頭で行われた万歳三唱です。喜びにあふれた「バンザイ」の掛け声が会場を包み込みました。

新井利明市長は式辞の中で、「地域社会が輝き、市民の誰もが喜びを感じて幸せに暮らしていけるよう、市民と市政が一緒になって、協働のまちづくりを推進していきたい」と述べました。

式典の目玉となったのが、表彰です。新井市長から2人の市政功労者へ功労章が授与されました。また、市政に貢献された58人と1団体に感謝状が贈呈されました。会場からは、表彰された方へ温かい拍手が送られました。

国歌斉唱では、開場中にも軽やかな演奏で来場者たちを楽しませた東中学校吹奏楽部が演奏を担当。来場者は、みかぼ合唱団と小野ふるさとコーラスのメンバーとともに斉唱しました。続いて、市歌合唱が行われ、「手と手を結び未来を創ろう ああ藤岡市 われらの誇り」という大きな歌声が会場に響き渡りました。

式典のオープニングを飾ったのは、藤岡市の歩みを紹介する映像放映。藤岡の緑と清流に恵まれた豊かな自然や歴史、市制施行から60年の間に発展を遂げてきた藤岡市の姿を映像で振り返りました。

昭和29年(1954)4月、1町4村が合併し、藤岡市が誕生してから60周年を迎えた平成26年11月1日、藤岡市制施行60周年を祝う記念式典がみかぼみらい館で行われました。式典には姉妹都市である石川県羽咋市長をはじめ、来賓や招待者ら約800人が出席。市民とともに歩いた藤岡市の60年間に感謝し、皆で祝いました。



NEWS 2014 **5年ぶりの花火大会!**
市制施行60周年を記念して
藤岡の夜空に
1万発の花火が輝く



市制施行60周年を祝う花火大会が平成26年8月23日、神流川河川敷で開催されました。藤岡市としては5年ぶりの花火大会で、色とりどりの花火約1万発が打ち上げられ、藤岡の夏の夜空に大輪の花を咲かせました。

会場の神流川河川敷には大勢の人が集まり、頭上に迫ってくるような鮮やかな花火を楽しんでいました。大きな花火が打ち上げられるたびに、「わあー、すごい」といった声や拍手が飛び交いました。60周年を記念した美しい花火大会は、多くの人を笑顔にしました。



「フジヒル」にサイクリストが大集合!
市内を笑顔で疾走。
気力と体力の限界にチャレンジ

NEWS 2014



平成26年6月1日、チャレンジサイクリングフェスタ「上州藤岡ライド&ヒル(通称フジヒル)」が開催されました。長距離を走る「ロングライド」と山登りの「ヒルクライム」を組み合わせたもので、今回で3回目の実施。県内外から集まった365人のサイクリストたちが60kmのチャレンジコース、30kmのエンジョイコースにそれぞれ挑戦し、藤岡の自然を満喫しながら、サイクリングを楽しみました。

とくに、60kmのチャレンジコースは、山あり、谷あり、川沿いに伸びるサイクリングロードあり、標高差443mにもなる急な上り坂ありと、起伏に富んだタフなコース。サイクリストたちは、最高気温が30℃を越す真夏日にもめげず、気力と体力の限界にチャレンジ。新緑の中を疾走していました。コース上に設けられた休憩スポットでは、藤岡産のキュウリやトマトなどが振る舞われていました。



約3,000人のランナーが力走！ 藤岡路を駆け抜ける 上州藤岡蚕マラソン

NEWS 2014

朝からさわやかに晴れた平成26年11月30日、「第3回上州藤岡蚕マラソン」が行われました。スタート・ゴール地点となったのは、陸上競技場。ここからハーフ、10km、5km、3km、2km、1kmのコースが設けられ、ランナーたちはそれぞれの目標に向かってコースを駆け抜けました。

ゴール後のお楽しみは、総合運動公園内で展開されているイベント。藤岡市のB級グルメ「キムトマ煮込みうどん」や有機米のおにぎり、藤岡産の豚肉を使った豚しゃぶしゃぶが無料で振る舞われました。ほかにも、大抽選会や物産展が催され、イベント会場は大変にぎわいました。

たのしい・おいしい・フェスティバル！ 笑顔がいっぱいの ふじおかフェスタ2014！

NEWS 2014



平成26年10月26日、「ふじおかフェスタ2014」が群馬医療福祉大学藤岡キャンパスで開催されました。「おいでよ！ノッてる藤岡に」がテーマの同フェスティバルでは、市内の産業が集結した「産業博」や土器づくり体験など、さまざまなイベントが催されました。総合司会はよしもと群馬住みます芸人として活動している、お笑いコンビ「アンカンミンカン」。笑いを交えながらの軽快な進行のもと、同フェスティバルのメインイベントである「C-1グランプリ」がスタートしました。

今回で4回目を迎えるC-1グランプリは、藤岡の名物にした（な）ってほしい料理を市民の投票で選ぶというもの。市内から13の飲食店が自慢の「うめもん」を引っさげ参加しました。販売スタートと同時に、会場はお客さんでいっぱい。来場者は各店自慢のうめもんを舌鼓を打っていました。一般投票の結果、柿ノ木の「おやじのひれかつ」が第4回グランプリに輝きました。

座繰り、まゆクラフト、コマ回し…。 おもしろ遊びを堪能した「子どもまつり」



子どもが主役の「子どもまつり」が平成26年12月6日、市民ホールで開催されました。クリスマスリース作り、座繰り体験、竹とんぼ作り、コマや皿回しなどの伝承遊びの体験、ミニ電車など、多彩なコーナーで埋め尽くされた会場は、多くの子どもたちでにぎわいました。なかでも、ひととき大人気を博したのが、歳末の風物詩・もちつき大会です。杵を両手で持った子どもたちは、順番にもちつきを体験。できたての餅は、お雑煮などで振る舞われ、来場者にはつきたての餅を堪能していました。

市民活動フェスティバル! さまざまなボランティア活動を紹介!



平成26年10月12日、総合学習センターで「市民活動フェスティバル」ボランティアアッテいいな!!」が開催されました。同フェスティバルは、日ごろボランティア活動をしている団体や学校などが一堂に会し、活動の成果を発表するとともに、相互の交流を深めようと開催されているものです。
会場では、市民活動団体によるステージ発表のほか、体験コーナー、パネル展示などが行われ、訪れた人たちがさまざまなボランティア活動に触れていました。

12月1日は桜山まつりの日! 桜山に咲く冬桜の満開を祝福



毎年12月1日に開催されている「桜山まつり」が今年も開催されました。冒頭で、歌手の湯原昌幸さんに、引き続き藤岡市観光大使をお願いする委嘱状が新井利明市長より渡されました。続いて、湯原さんの歌謡ショーがスタート。桜山に湯原さんの歌声が響き渡ると、訪れた人たちはその歌声に酔いしれていました。歌謡ショーの後は、お待ちかねのとっちゃん汁の配布です。あったかい汁に舌鼓を打ちながら、冷え切った体を温めていました。

健康と福祉について知る・学ぶ! 第20回健康福祉祭を開催



健康福祉祭が平成26年10月25日、市民ホールで開催され、骨密度や体力測定ができる健康チェックや高齢者疑似体験などが行われました。来場者は体験や展示を通して、健康や福祉について学んでいました。多くの人でにぎわった会場では、ひととき人を集めたのが、歯周病検査です。あつという間に先着100人という定員に達してしまうほどの人気ぶりです。同年4月、「藤岡市歯と口の健康づくりの推進に関する条例」が施行されたことを受け、歯と口の健康について関心が高まっているようでした。